

人体の構造と機能演習	2 年・前期	1 単位	教授 安部 まゆみ
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32110282

1. 授業のねらい・概要

人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱならびに病理学で学習した内容に関する演習問題を解くことで、病態生理の基礎となる知識の定着をはかる。

2. 到達目標

- 1) 各臓器の大きさや形状，体内での位置，各臓器の相対位置関係などを具体的に描ける。
- 2) 各組織・細胞の形態と機能を把握する。
- 3) 各臓器や組織の機能の正常状態と異常（疾病・病態）を把握する。

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが，人体・臓器模型，プリントも利用する。学生の主体的な取り組みを促す。

4. 授業計画

全 15 回とも 1 年次に履修した「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」ならびに「病理学」に関する問題を指名した学生に答えさせる。問題自体は事前には開示しないが，問題の範囲は掲示する。授業中に解答・解説を行う。個々が自身の学習の習熟度を自覚し，主体的な学修へと繋がる内容とする。

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）100%

6. テキスト・参考文献

教科書：林正 健二： ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版
杉本 由香 監修 2020 年版看護師国試 PASS NOTE 学研メディカル秀潤社

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

既習の「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」「病理学」を毎回 1 時間程度，復習しておく事。

8. 受講上の留意事項

「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」ならびに「病理学」で学習した内容を質問形式で復習するので，事前に両教科書で予習をしっかりと行い，授業後に必ず復習をする事。
遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎む事。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の結果と模範解答は後日掲示し提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。